

恐るべしインフル

ついこの間お正月が終わったかと思えば今年ももう二か月が経とうとしています。月日の経つのは本当に早いですね～。最近では成人の日に7年ぶりの大雪が降るなど厳しい寒さが続いています。皆さんいかがお過ごしでしょうか？世間では今、「インフルエンザ猛威を振るう」という事で連日TVのニュースで騒がれています。そんな中、他人事でいた自分もな、なんと感染してしまいました。何日か前から関節が痛いなあ～なんて思っていたらいきなり40度近い熱が出てそれが何日か続いた為、病院で検査をしたところあっさり「A型インフルです。」と。薬局でイナビルという吸入粉末剤の薬をもらい2～3日でよくなりました。しかしこれだけでは終わりませんでした。今度は奥さんがなんか変な咳をしているなどと思ったらその日から発熱。すぐに病院に行き「A型です。」お次は長男。学校から帰ってきて様子がおかしいと、これまた病院へ直行。「A型です。」なんと立て続けに家族二人が感染してしまいました。幸い長男はその日のうちに薬を吸引し、処置が早かったのか翌日には熱が下がり元気になりました。一番ひどかったのは奥さん。インフルが治ったかと思ったら続けて別の菌に感染



家の中でもご覧のとおり完全防備

塩素成分でウイルスを強力除菌
花粉にも効果がある優れものです



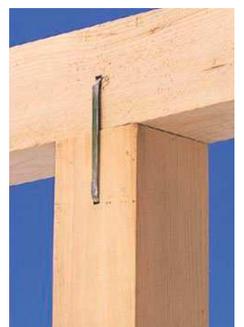
してダウン。結局10日間くらい闘病生活を送っていました。子供が外からウイルスを拾ってきて家族が感染というパターンはよくありますが、一家の大黒柱である自分がウイルスを持ち込んでしまったとは何とも情けない話で家族みんなに申し訳ない事をしてしまいました。「いや、まだ終わっていない。家にはもう一人娘が、、、このままでは鈴木家全滅の危機。待てよ。たしか娘は一週間後にシンクロの大会を控えて毎日夜遅くまで練習していたよな。」まずい。すぐにマスクと首にぶら下げる除菌パックを購入。(除菌パックはどこの薬局に行っても欠品中で慌ててネットで購入)家の中でも上の写真の格好で何とか娘の感染は食い止めることができ、最悪の事態は免れました。ふう～、よかった。さてインフルエンザは気温が低く空気が乾燥している3月くらまでがピーク。まだまだ予断を許さない状況です。皆さんもくれぐれも手洗い、うがいを徹底してこの冬を乗り切ってください。

住まいのことわざ

子は鋸(かすがい)

「鋸」とは、材木と材木とをつなぎ合わせるために使う釘の一種。一般的には金属製で、ホチキスの針のようなコの字型をしています。「子は鋸」は、子供は鋸のように、夫婦の仲をつなぎ止めてくれるものである、という意味になります。

「鋸」が使われていることわざには、他に「豆腐に鋸」があります。豆腐のようにやわらかな物に鋸を打ち込んでも何の手応えもない、つまり「意見をしても無駄な事」を意味します。同じような意味で、なおかつ釘を使ったことわざが「糠(ぬか)に釘」「生壁の釘」も同様です。



BEFORE→AFTER リフォーム工事見学会

さあ、今回のレポートはLDKを改装しましたY様邸をご紹介します。まだお家が建ってから数年しか経っていませんが、常夏のハワイをイメージして内装を一新し、大胆に模様替えを行いました。ところがただの内装リフォームではありませんよ。



BEFORE 見取り図

階段横の壁が外からの太陽光を遮り、薄暗いリビング。せっかく窓があるのにもったいないし、壁自体、圧迫感もあります。また出入口からキッチンへの動線上にTVが配置され、誰かがTVを観ていると何だか通りづらい、、、こんな悩みを解決したのが今回のリフォームプランです！！



AFTER 見取り図



はい！ハワイのコンドミニウム！？の出来上がり～。階段横の壁が取り払われ明るい太陽の光がたくさん入ってきました。階段スペースもリビングに取り込まれ、以前よりも広く開放的に！壁にはアクセントにダイナミックな石を貼り、また天井にはシーリングファンを取付け、より南国の雰囲気になりました。





ん～外からの光を何とか入れたいな～



大胆に壁をがっばりと開口。石を積み上げたような階段おしゃれですね



ん～落ち着いてTVが観たいなあ～



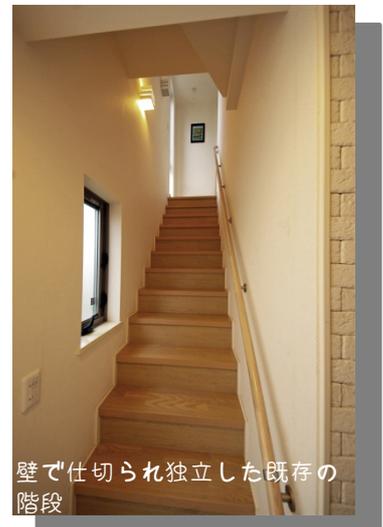
既存の収納を切り詰めTVボードに、これでゆっくとTV観賞OK



広がり感を残しつつ、キッチンを目隠しにとスリットの格子を設置



眩しいほどの太陽光いいですね～



壁で仕切られ独立した既存の階段



既存の窓は一回り大きい物に、また構造上問題ないところに新たに台形の窓を設置し、さらに採光を確保



解体した階段の手摺の一部を玄関に再利用



傷跡一つ残さずサッシを納めました。

いかがだったでしょうか？今回のリフォームは採光、動線、お部屋の使い勝手と全てが改善されたバスケットでいったら3ポイントシュートを決めたような！？爽快なリフォームとなりました。しかしながら、今回の建物はヘーベルハウスという事で鉄骨フレームでできたお家の改装でした。

木造住宅に比べると耐震性に優れ非常にしっかりとした建物なのですが、リフォームという事になるとその自由度は低く、窓を大きくしたり、また新たに窓を増やすなど構造的にかなりの制約がありました。そんなことで当初の予定通りの採光が得られるか少し不安要素が残りましたが結果、以前に比べかなり明るく開放的なお部屋になりお客様には大変喜んで頂けました。またサッシ取付に関してもALCサッシと、あまり耳慣れないサッシですが外側と内側から正確に寸法を割出し外壁をカットする事より、余分な傷跡をつけずに取付できました。これもひとえに高い技術を持つ職人さんたちのおかげです。感謝感謝。またこちらの現場の様子はホームページの施工事例のコーナーでも詳しくご紹介していますので是非ともご覧ください。それでは次回をお楽しみに！



Bells kitchen presented by maiko

皆様、お変りはありませんか？

先にもあった通り、インフルエンザで大変な目にあいました。(涙)立て続けに三人感染してしまったので、治りかけの者が看病するという荒業！？で何とか乗り切りました。私においては約二週間具合が悪かったので、健康体である事の有難さを思い知らされました。そして気を使ってあれやこれやと世話をしてくれた家族の有難さも...

今回は我が家でよく登場する「お粥」をご紹介します。シンプルながら中華街にも負けない...かも！？

材料	米	1カップ(200cc)	薬味	白髪ねぎ
	取もも肉	1枚の半分くらい		針ショウガ
	水	1600cc		香菜または三つ葉
	塩			ザーサイ(みじん切)

作り方 1 米は手でこすり合わせるようにしてとぐ。水気を切り鍋へ
2 さらに一口大に切った取もも肉を入れ、水を加える。
3 煮立ってきたらあくを取り弱火にしてコトコト...、少しトロツとするまで煮る。
4 塩を加えて2~3分煮て出来上がり



お好みでラー油やポン酢をかけてもおいしいよ



揚げギョーザと一緒に召し上がれ

季節のコラム

もうすぐひな祭り。ひな人形を飾り、かわいらしい桃の花やひし餅を供えて春を迎える。なんとも心華やぐひとときです。ひな祭りの由来は、古く平安時代から伝わる「流しひな」と深く関わっているとが。これは、自分の身代わりとした人形(ひとがた)に災厄を託し、川に流して身を清めるという儀式。季節の変わり目で邪気が入りやすい3月最初の巳の日(旧暦)に、貴族が行っていたそうです。一方、宮中の子供たちの間では、紙の着せ替え人形で遊ぶ「ひいな遊び」が盛んで、こうした儀式と遊びが結びつき、ひな祭りの原型ができたと言われています。



用瀬(もちがせ)の流しひな
ひな祭りの原型とされる「流しひな」。有名なのは鳥取県用瀬町の流しひな。旧暦の3月3日に、男女一對の紙ひなや、花、ひし餅などを乗せた棧俵を近くの千代川に流し、1年の無病息災を祈る。



編集後記

前回ご紹介した我が家のアイドル「ハムちゃん」。最近はずっかり慣れて自分から手のひらに乗ってくることも。餌をあげるととりあえず口に全部放り込み、ほお袋がご覧のとおり。何ともカワイ〜。つついたくさんあげたくてしまいますが太りすぎに要注意。ってなわけで年明け最初の話がインフルエンザになってしまいましたが、気を取り直して今年も全力で頑張っていきます！次回は5月発行の予定です。お楽しみに！

